

# SideKick Star

マニュアル

星景写真ワークフロー支援ツール for Adobe Photoshop

---

# 1. はじめに

SideKick Star は、星景写真のワークフローを支援する Adobe Photoshop 用スクリプトです。比較明合成・RAW 現像・天の川強調という、毎回繰り返される処理と判断を自動化します。日本の光害環境と大量ファイル処理の現実から設計した、実務ベースのツールです。

「Sidekick Starは、星景の“処理”を売るのではなく、星景で繰り返してきた“判断”をツールとして外に出すために作っています。」

主な機能:

- RAW現像 — Camera Raw を使った自動現像（比較明用 / 天の川用）
- 星・天の川強調 — Lab色空間でのLch/abチャンネル強調
- 比較明スタック — 数千~1万枚以上のフレームを比較明合成で積み上げ
- AI飛行機軌跡除去（STAC） — 飛行機・人工衛星の軌跡を自動で除去

# 2. インストール手順

配布 ZIP を解凍し、Sidekick\_Star

フォルダ全体を以下の場所にコピーしてください。スクリプトはどこに置いても動作します。

Windows:

C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop 2025\Presets\Scripts\

Mac:

/Applications/Adobe Photoshop 2025/Presets/Scripts/

フォルダ構成:

Scripts/

Scripts/Sidekick\_Star/

Scripts/Sidekick\_Star/SideKick\_Star.jsxbin メインスクリプト

Scripts/Sidekick\_Star/SideKick\_Star\_EditBlockPSB.jsxbin PSBブロック編集

Scripts/Sidekick\_Star/SideKick\_Star\_RecomposeLighten.jsxbin 比較明再合成

Scripts/Sidekick\_Star/modules/

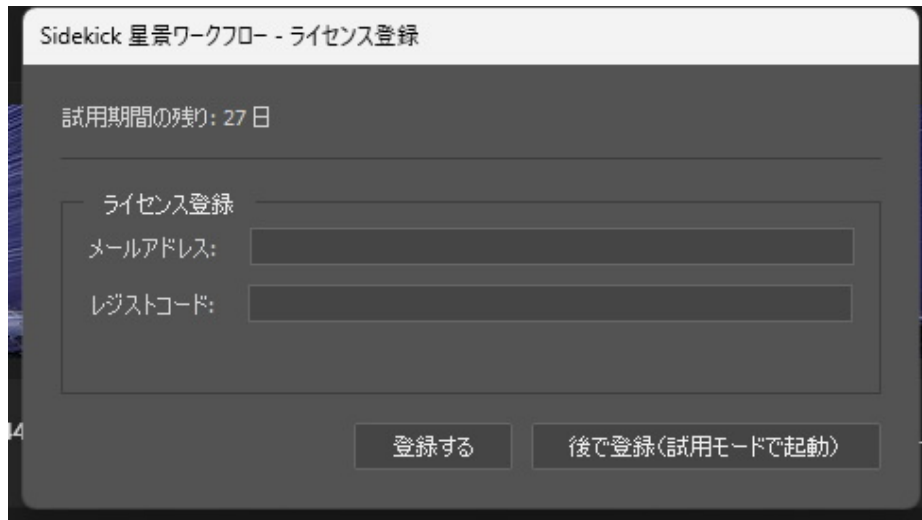
SideKick\_Star.jsxbin を右クリック → 「プログラムから開く」 → Adobe Photoshop

を選択し、「常にこのアプリを使う」にチェックを入れてください。以降はダブルクリックで起動します。

### 3. ライセンス登録

初回起動時、ライセンス登録ダイアログが表示されます。

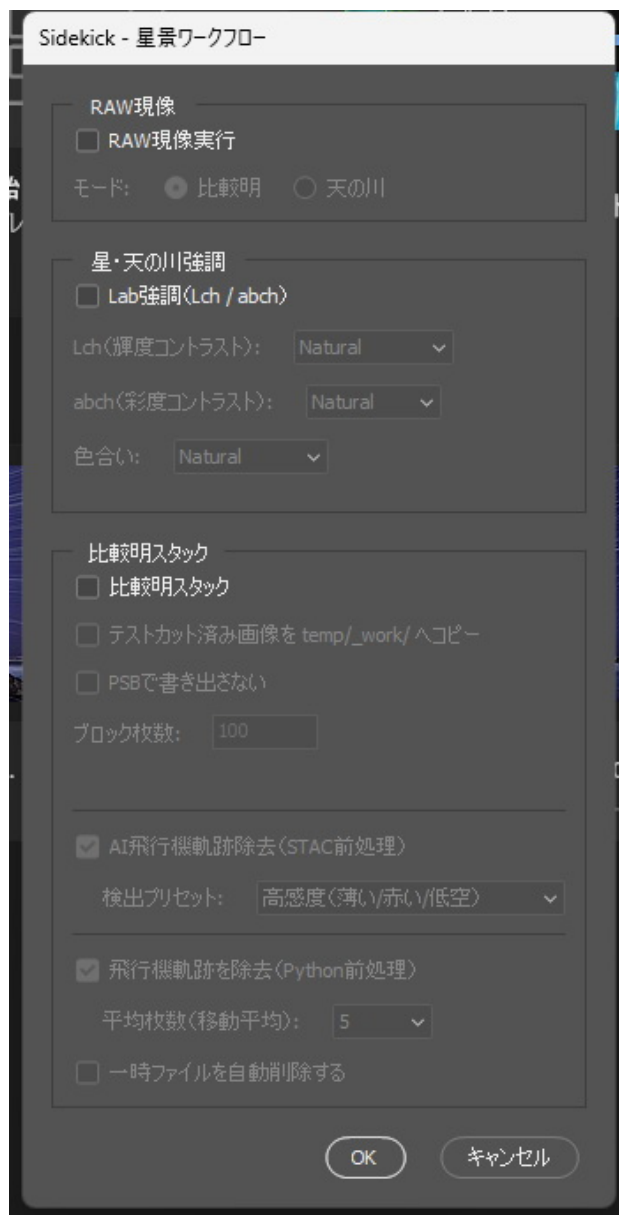
- 試用期間: 90 日間（全機能使用可）
- 購入後: 登録メールアドレスとレジストコードを入力して「登録する」をクリック



ライセンス登録ダイアログ（初回起動時）

## 4. メイン画面の概要

SideKick\_Star.jsxbin をダブルクリックすると「Sidekick - 星景ワークフロー」ダイアログが開きます。3つのパネルにそれぞれの処理が独立しており、必要な処理にチェックを入れて「OK」を押します。



メイン操作ダイアログ (3 パネル構成)

注意: [RAW現像] / [星・天の川強調] / [比較明スタック]

でチェックを入れられるのはいずれか1つです。他を選びたいときは一度チェックを外してください。

## 5. RAW現像

Camera Raw を使ってフォルダ内の RAW

ファイルを自動現像します。比較明用と天の川用で現像モードが切り替わります。

項目	説明
RAW現像実行	このパネルを有効にする
モード: 比較明用	比較明スタック前のフレームをバッチ現像
モード: 天の川用	2WBレイヤー方式で現像。空と地上を別WBで合成する

## 6. 星・天の川強調

Lab色空間（LabProxy方式）で輝度コントラスト・色相・彩度を強調します。Sky-StarMask を使って空領域のみに処理を適用し、地上に影響しません。

項目	説明
Lab強調	このモジュールを有効にする
Lch（輝度コントラスト）	LチャンネルのS字カーブ強度 Very Light / Light / Natural（既定） / Strong / Hard
abch（彩度コントラスト）	a/bチャンネルのスケール（彩度） Off / Light / Natural（既定） / Strong / Hard
色合い	ab軸シフトによる色相変化 Off / Natural（既定） / Warm（暖色） / Cool（冷色） / IR / NeutralG abch=Off のとき自動的に Off になります

## 7. 比較明スタック

比較明ブレンドで複数フレームを積み上げます。数千～1万枚以上のフレームを扱うことを前提に設計されており、ブロック分割処理・AI飛行機除去・テストカット自動除外などの機能を備えています。

項目	説明
比較明スタック	このモジュールを有効にする
テストカット除外カットを _work/へコピー	先頭の露出テストカットを自動除外し、残りを _work/へコピー（先頭テストカット除外は常に実行）
PSBで書き出さない	ブロック枚数ごとにレイヤー化したファイルをPSBで書き出し可能。不要な場合はチェックを入れてください。
ブロック枚数	一度にメモリに載せるフレーム数（既定 100）。VRAM 不足の場合は減らす
AI飛行機軌跡除去（STAC前処理）	スタック前に飛行機・衛星の軌跡を自動検出・除去
<input checked="" type="checkbox"/> 検出プリセット	検出感度のプリセット: 5種類（明るい白線 / 高感度 / 密な星軌跡 / 広角高解像 / 追い込み）
飛行機軌跡を除去	飛行機軌跡やノイズを前後の平均を取って軽減する
<input checked="" type="checkbox"/> 平均枚数	平均を取るフレーム枚数（1～10）
一時ファイルを自動削除する	処理完了後に中間ファイルを自動削除

## 8. スカイマスクの使い方 (sky.jpg)

比較明スタック処理では、空領域を指定した「スカイマスク」を使って油彩処理と地上ノイズリダクションを空・地上それぞれに最適形で適用します。スカイマスクはスクリプトが自動生成しますが、ユーザーが自分で用意するとより正確な仕上がりになります。

### ■ スカイマスクとは

空の部分が白、地面・山・木などが黒のグレースケール画像です。白い領域にだけ油彩処理（星の軌跡のつなぎ補完）が適用され、黒い領域にはサーフェスブラー+アンシャープマスクによる地上 NR が適用されます。

### ■ 作り方

- 撮影フレームの中から1枚をPhotoshopで開く（中間フレーム推奨）
- 空部分を白、地面・山・木などを黒に塗り分ける
- → クイックマスク・選択とマスク・ペンツールなど好きな方法でOK
- → 白黒完全2値でなくてもOK。境界がグレーでも自然なぼかし境界として機能
- ファイル名を sky.jpg（または sky.png / sky.tif / sky.psd）で保存
- 現像済み原画ファイルと同じフォルダに置く



元画像



スカイマスク (white=空 / black=地上・山)

### ■ 自動処理の流れ

- スクリプト実行時に画像フォルダ内の sky.\* を自動検出
- jpg / tif / psd の場合はPhotoshopがグレースケールPNGに自動変換
- 変換後のファイルを temp/Al\_masks/sky.png に保存して利用
- sky.\* が見つからない場合は  
selectSky（自動空選択）で生成、それも失敗した場合は上60%を空として代用

※ スカイマスクは必須ではありません。用意しなくても自動生成されますが、山の稜線が複雑な場合や地上に明るい光源がある場合は自分で作ることを推奨します。

## 9. 処理例 — 比較明スタック前後



ビフォー (1枚)



アフター (比較明スタック)

1,100 枚の比較明スタック合成による星の軌跡強調。Sidekick Star はこの処理を自動化します。

## 10. 価格・購入

価格	¥9,800 (税込・買い切り)
試用期間	90 日間 (クレジットカード不要・全機能使用可)
ライセンス	1 ライセンス = 1 ユーザー (個人・商用利用可)
購入後	ライセンスキーをメールでお送りします (通常数日以内)
お問い合わせ	murata@mbg.nifty.com

## 11. トラブルシューティング

Q. スクリプトが起動しない

A. Photoshop を「管理者として実行」してください。または jsxbin ファイルを Photoshop に直接ドラッグ&ドロップしてください。

Q. Camera Raw ダイアログが表示される

A. SideKick Star の RAW 現像は Camera Raw を使います。自動クローズのため通常はダイアログが見えませんが、数十枚処理後にリセットが入ることがあります。

Q. 飛行機除去 (Python) が動かない

A. Python が別途インストールされている必要があります (Python 3.x)。STAC (AI) 除去は Python 不要のため、代替として使用できます。

Q. 90 日のトライアル期間が終わった

A. 購入ページで購入後、登録ダイアログにメールアドレスとレジストコードを入力してください。

Q. RAW 対応フォーマットは？

A. Camera Raw がサポートする全 RAW フォーマットに対応します。代表的なもの: ARW / CR2 / CR3 / NEF / RAF / DNG / RW2 / ORF。

Q. ブロック枚数の目安は？

A. RAM 16GB 環境で 100 枚が目安です。処理が遅い・落ちる場合は 50 に下げてください。

Q. 商用利用は可能？

A. 1 ライセンスで個人・商用利用が可能です。ただし 1 ライセンス = 1 ユーザーです。

## 12. 動作環境

- Adobe Photoshop 2020 以降 (Beta 版含む)
- Windows 10 / 11 (64bit)
- macOS 12 Monterey 以降
- RAM 16GB 以上推奨 (大量フレーム処理の場合は 32GB 以上)
- Python 3.x (飛行機軌跡除去 Python 前処理を使用する場合のみ)

## 13. サポート・お問い合わせ

ご不明な点は下記メールアドレスまでお問い合わせください。

murata@mbg.nifty.com